

データ伝送サービス
『レコード・フォーマット』



【目 次】

■ データ伝送サービス取扱基準	1
■ 総合振込レコード・フォーマット	6
■ 給与（賞与）振込レコード・フォーマット	9
■ 振込入金通知レコード・フォーマット	12
■ 入出金取引明細レコード・フォーマット	15
■ 残高通知（預金）レコード・フォーマット	21
■ 預金口座振替（依頼明細）レコード・フォーマット	24
■ 預金口座振替（処理結果明細）レコード・フォーマット	27
■ 住民税レコード・フォーマット	28

(特別徴収による市町村民税、都道府県民税)

データ伝送サービス取扱基準

1. データ伝送サービスで使用可能な文字（半角大文字）

数字(10種類)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9										
アルファベット	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
(26種類)	U	V	W	X	Y	Z														
カナ文字	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
(45種類)	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ
	ル	レ	ロ	ワ	ン															
濁点、半濁点	ゝ	゜																		
記号等	()	-(ハイフン)				.(ピリオド)				スペース									

※長音の場合は、長音記号（ー）は使わずにハイフン（-）を使ってください。

※中点（・）は使用できません。

振込先口座の名義に中点（・）が含まれている場合はそのままでは入力できないので、先方に正確な口座名義を確認してください。どうしても使用する場合はピリオド（.）を使用してください。

2. 振込依頼人・受取人名などの記録方法

- (1) 振込依頼人名・受取人名などは左詰めとし、残りをスペースとする。
- (2) 振込依頼人名・受取人名などは半角カナ大文字を使用する。（半角カナ小文字は使用できない。）
- (3) 個人の姓及び名、法人または営業所の種類名及び名称は、それぞれ分ち書きをしない。

個人の姓と名、法人の種類と名称、法人名と営業所名とは、それぞれの間にスペースを入れて分ち書きする。ただし、後記（4）「略語の使用法」により略語を使用する場合にはスペースに代えてカッコを使用する。

（例）

《個人の場合》

山本 一郎

→ ヤマト イロウ

《法人の場合》

株式会社 山本商店東京支店

→ カブシカイシャ ヤマトショウテン トウキョウシテン

(4) 略語の使用方法

法人・営業所及び事業所の種類名は、次の用法に基づき略語を使用することができる。

A. 法人略語及び営業所略語は、略語判別表示としてカッコを付して使用する。

なお、事業略語には、略語判別表示を付さない。

(例)

- ・カヤマトシヨウジ^カ
- ・ヤマトシヨウジ^カ トキヨウ(エイ)
- ・ヤマトシヨウジ^カ

B. 略語の使用は、1 法人名につき 1 個とする。ただし、法人略語、事業略語及び営業所略語のそれぞれを組合せて併用してもよい。

(例)

《法人略語と事業略語の併用例》

「昭和火災海上保険株式会社」の場合

→ ショウワカイ^カ

《法人略語と事業略語及び営業所略語の併用例》

「昭和火災海上保険株式会社名古屋営業所」の場合

→ ショウワカイ^カ ナゴヤ^{エイ}

《法人略語と営業所略語の併用例》

「昭和火災海上保険株式会社名古屋営業所」の場合

→ ショウワカイ^カ ナゴヤ^{エイ}

《事業略語と営業所略語の併用例》

「昭和火災海上保険株式会社名古屋営業所」の場合

→ ショウワカイ^カ ナゴヤ^{エイ}

C. 事業略語は、最も包括的な略語を使用する。

例えば、農業協同組合は「ノキヨウ」とし「ノキ^カヨウキヨウ^カミ」としない。

3. 略語を使用することができる用語および略語

用語	カナ略語	用語	カナ略語
法人略語		法人略語	
株式会社	カ	農事組合法人	ノウ
有限会社	ユ	管理組合法人	カンリ
合名会社	メ	社会保険労務士法人	ロウム
合資会社	シ		
合同会社	ト	営業所略語	
医療法人	イ	営業所	エイ
医療法人社団	イ	出張所	シュツ
医療法人財団	イ		
社会医療法人	イ	事業略語	
財団法人	ザイ	連合会	レン
一般財団法人	ザイ	共済組合	キヨウサイ
公益財団法人	ザイ	協同組合	キョウクミ
社団法人	シャ	生命保険	セイメイ
一般社団法人	シャ	海上火災保険	カイジョウ
公益社団法人	シャ	火災海上保険	カサイ
宗教法人	シュウ	健康保険組合	ケンボ
学校法人	ガク	国民健康保険組合	コクホ
社会福祉法人	フク	国民健康保険団体連合会	コクホレン
更正保護法人	ホゴ	社会保険診療報酬支払基金	シャホ
相互会社	ソ	厚生年金基金	コウネン
特定非営利活動法人	トクビ	従業員組合	ジユウクミ
独立行政法人	トク	労働組合	ロウクミ
地方独立行政法人	チトク	生活協同組合	セイキョウ
中期目標管理法	モク	食糧販売協同組合	シヨクハンキョウ
国立研究開発法人	ケン	国家公務員共済組合連合会	コクキョウレン
行政執行法人	シツ	農業協同組合連合会	ノウキョウレン
弁護士法人	ベン	経済農業協同組合連合会	ケイザイレン
有限責任中間法人	チユウ	共済農業協同組合連合会	キョウサイレン
無限責任中間法人	チユウ	漁業協同組合	ギョキョウ
行政書士法人	ギョ	漁業協同組合連合会	ギョレン
司法書士法人	シホ	公共職業安定所	シヨクアン
税理士法人	ゼイ	社会福祉協議会	シャキョウ
国立大学法人	ダイ	特別養護老人ホーム	トクヨウ
公立大学法人	ダイ	有限責任事業組合	ユウクミ

法人略語は上記のとおりですが、振込入金があった際の振込元の法人略語、およびビジネスダイレクトの契約法人名欄・口座名義人欄等が、以下のように表示される場合があります。

1. 法人略語が両カッコ「(カ)、(ユ)等」になっている
2. 医療法人社団の法人略語が「イ」ではなく「(イシャ)」になっている
3. 法人名義の後に役職名(代表取締役等)無しの代表者名が応答されている

4. 銀行名・支店名の記録方法

(1) 銀行名は、半角カナ大文字により左づめで記録し、残りをスペースとする。ただし、半角カナ小文字は使用できない。なお、金融機関業態名及び略称記録方法は次のとおり。

金融機関業態名	略 称
〇〇〇〇銀行	〇〇〇〇 例) 北洋銀行 → ホクヨウ
〇〇信用金庫	〇〇シキソ
〇〇信用組合	〇〇シキミ
〇〇労働金庫	〇〇ロウキン
〇〇信用農業協同組合連合会	〇〇シノレン
〇〇信用漁業協同組合連合会	〇〇シキギョレン
〇〇農業協同組合	〇〇ノキヨウ

(2) 支店名は、半角カナ大文字により左づめで記録し、残りをスペースとする。ただし、半角カナ小文字は使用できない。なお、「シケン」の文字は記録しない。

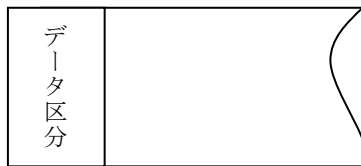
(例)

札幌南支店 → サッポロミナミ

5. レコード・シーケンス

(1) レコードの種類

各レコードの最初の1バイトはデータ区分となっており、これによりレコードの種類を表わす。



- ①ヘッダー・レコード . . . データ・レコードの集まりの始まりを表すとともに、データ・レコードの種別等を表示する。
データ区分「1」
- ②データ・レコード . . . 連絡・通知する情報の1単位。
データ区分「2」
- ③トレーラ・レコード . . . ヘッダー・レコードで始まるデータ・レコードの集まりの終わりを表わす。
データ区分「8」
- ④エンド・レコード . . . ファイルの終わりを表わす。
データ区分「9」

(2) レコードのシーケンス

レコードのシーケンスは、ヘッダー・レコード、データ・レコード、トレーラ・レコードの順とし、最終レコードとしてエンド・レコードを付ける。

また、1ファイルは最初のヘッダー・レコードからエンド・レコードまでにより構成される。

なお、1ファイルに複数のヘッダー・レコードがある場合には、各ヘッダー・レコード上の種別コードは同一種別コードに限定される。

レコード・シーケンスのパターンは次のとおり。

①ヘッダー・レコードが1つのファイルの場合

ヘレ ッコ ダ ド	デレ コ タ ド	デレ コ タ ド	デレ コ タ ド		デレ コ タ ド	トレ レコ ラド	エレ ンコ ド ド
---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	--	---------------------	---------------------	---------------------

②ヘッダー・レコードが複数のファイルの場合

ヘレ ッコ ダ ド	デレ コ タ ド	デレ コ タ ド	トレ レコ ラド	ヘレ ッコ ダ ド	デレ コ タ ド	デレ コ タ ド	デレ コ タ ド	トレ レコ ラド	ヘレ ッコ ダ ド	デレ コ タ ド	デレ コ タ ド
---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------

デレ コ タ ド	デレ コ タ ド					デレ コ タ ド	トレ レコ ラド	エレ ンコ ド ド
---------------------	---------------------	--	--	--	--	---------------------	---------------------	---------------------

(注) データ・レコードのない場合もある。

ヘレ ッコ ダ ド	トレ レコ ラド	エレ ンコ ド ド
---------------------	---------------------	---------------------

総合振込レコード・フォーマット

(1) 説明

- ・振込依頼人(企業等)が同時に多数の振込を依頼する場合の振込明細で、振込依頼人から銀行へ連絡される。

(2) レコードの内容

- ・項目名頭部に「※」が付してあるものは任意記録項目なので、記録しない場合は「0」または「スペース」とする。
- ・桁数欄の「C」はキャラクター(数字を含む)、「N」は数字を表す。

①ヘッダー・レコード(振込依頼人情報の記録部分)

項番	項目名	桁数	内容										
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表す。 「1」:ヘッダーレコードと記録する。										
2	種別コード	N(2)	業務種別を表す。 「21」:総合振込と記録する。										
3	コード区分	N(1)	使用コード区分を表す。 「0」:J I Sコード(Bダイルクトは「0」のみ対応) 「1」:E B C D I Cコード										
4	振込依頼人コード	N(10)	振込依頼人識別のため銀行が採番したコードを表す。 ・・・右詰め残り前「0」。 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> </tr> </table>										
5	振込依頼人名	C(40)	振込依頼人名をカナ文字で表す。 ・・・左詰め残りスペース (受取人の通帳摘要として出力される。)										
6	取組日	N(4)	振込指定日を月日を表す。 例) 6月25日 → 「0625」 (銀行休業日の指定は不可。)										
7	仕向銀行番号	N(4)	統一金融機関番号を表す。 「0501」(北洋銀行)と記録する。										
8	※仕向銀行名	C(15)	「ホヨ」と記録する。 ・・・左詰め残りスペース										
9	仕向支店番号	N(3)	統一店番号を表す。 取引支店番号(統一店番号)を記録する。 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> </tr> </table>										
10	※仕向支店名	C(15)	取引支店名を記録する。 ・・・左詰め残りスペース										
11	預金種目 (依頼人)	N(1)	振込依頼人の預金種目を記録する。 「1」・・・普通預金 「2」・・・当座預金 「9」・・・その他(Bダイルクトは「9」使用不可)										
12	口座番号 (依頼人)	N(7)	振込依頼人の口座番号を記録する。 ・・・右詰め残り前「0」。										
13	ダミー	C(17)	スペースとする。										

(1 2 0)

②データ・レコード（受取人情報の記録部分）

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類を表す。 「2」：データ・レコードと記録する。
2	被仕向銀行番号	N(4)	統一金融機関番号。 振込先の銀行番号を記録する。(金融機関共同コード)
3	※ 被仕向銀行名	C(15)	振込先の銀行名をカナ文字で記録する。 ・・・左詰め残りスペース 例) 北洋銀行 → 「ホウヨウ」 〔 上記「被仕向銀行番号」に該当しない名称 が記録されている場合は、「被仕向銀行番号」 を優先して処理する。 〕
4	被仕向支店番号	N(3)	統一店番号 振込先の支店番号を記録する。(統一店番号)
5	※ 被仕向支店名	C(15)	振込先の支店名を記録する。 ・・・左詰め残りスペース 〔 上記「被仕向支店番号」に該当しない名称 が記録されている場合は、「被仕向支店番号」 を優先して処理する。 〕
6	※ 手形交換所番号	N(4)	統一手形交換所番号を表す。
7	預金種目	N(1)	振込先の預金種目を記録する。 「1」・・・普通預金 「2」・・・当座預金 「4」・・・貯蓄預金 「9」・・・その他 ※「4」（貯蓄預金）については、株式配当金、年金での振込は出来ません。
8	口座番号	N(7)	振込先の口座番号を記録する。 ・・・右詰め残り前「0」。
9	受取人名	C(30)	受取人名をカナ文字で記録する。 ・・・左詰め残りスペース
10	振込金額	N(10)	振込金額を記録する。 ・・・右詰め残り前「0」。 (振込金額「0」は処理されない)
11	新規コード	N(1)	「1」：第1回振込分 「2」：変更分(被仕向銀行・支店、預金種目・ 口座番号) 「0」：その他
12	※ 顧客コード1	N(10)	依頼人が定めた受取人識別のための顧客コードを表す。
13	※ 顧客コード2	N(10)	
12 および 13	E D I 情報	C(20)	項番15の識別表示欄に「Y」表示を付した場合には、 本欄の内容は「依頼人から受取人に対して通知するE D I 情報」を表す。 ・・・左詰め残りスペース
14	※ 振込指定区分	N(1)	「7」：テレ振込、「8」：文書振込
15	※ 識別表示	C(1)	「Y」またはスペースとする。 本欄に「Y」表示を付した場合は、項番12・13の 項目内容は「E D I 情報」を表す。
16	ダ ミ ー	C(7)	スペースとする。

③トレーラ・レコード（データ・レコードの集計情報の記録部分）

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類を表す。 「8」：トレーラ・レコードと記録する。
2	合計件数	N(6)	データ・レコードの合計件数を記録する。 ・・・ 右詰め残り前「0」。
3	合計金額	N(12)	データ・レコードの振込金額の合計額を記録する。 ・・・ 右詰め残り前「0」。
4	ダミー	C(101)	スペースとする。

(120)

④エンド・レコード（終了情報の記録部分）

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類を表す。 「9」：エンド・レコードと記録する。
2	ダミー	C(119)	スペースとする。

(120)

給与（賞与）振込レコード・フォーマット

(1) 説明

- ・企業等が従業員の給与を口座振込の形で支払う場合の振込明細で取引先から銀行へ連絡される。

(2) レコードの内容

- ・項目名頭部に「※」が付してあるものは任意記録項目なので、記録しない場合は、「0」または「スペース」とする。
- ・桁数欄の「C」はキャラクター（数字を含む）、「N」は数字を表す。

① ヘッダー・レコード（振込依頼人情報の記録部分）

項番	項目名	桁数	内容										
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表す。 「1」：ヘッダーレコードと記録する。										
2	種別コード	N(2)	業務種別を表す。 「11」：給与振込、「12」：賞与振込と記録する。										
3	コード区分	N(1)	使用コード区分を表す。 「0」：JISコード（Bダイトは「0」のみ対応） 「1」：EBCDICコード										
4	会社コード	N(10)	会社識別のため銀行が採番したコードを表す。 ・・・ 右詰め残り前「0」。 <table border="1" style="margin-left: 20px; width: 100px; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> </tr> </table>										
5	会社名	C(40)	会社名をカナ文字で表す。（事業所、出張所名等を含めてもよい。・・・ 左詰め残りスペース。 ※受取人の通帳摘要には、項番2の種別コードが 「11」の時、「キョウ 会社名」 「12」の時、「シヨウ 会社名」として出力される。 例：会社名が「カキョウ」の場合、 「11」の時、「キョウ カキョウ」 「12」の時、「シヨウ カキョウ」として出力される。										
6	振込指定日	N(4)	振込指定日を月日を表す。 例) 6月25日 → 「0625」 （銀行休業日の指定は不可。）										
7	仕向銀行番号	N(4)	統一金融機関番号を表す。 「0501」：（北洋銀行）と記録する。										
8	※仕向銀行名	C(15)	「キョウ」と記録する。 ・・・ 左詰め残りスペース。										
9	仕向支店番号	N(3)	統一店番号を表す。 取引支店番号（統一店番号）を記録する。 <table border="1" style="margin-left: 20px; width: 60px; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 15px;"></td> <td style="width: 20px; height: 15px;"></td> <td style="width: 20px; height: 15px;"></td> </tr> </table>										
10	※仕向支店名	C(15)	取引支店名を記録する。 ・・・ 左詰め残りスペース。										
11	預金種目 （企業等）	N(1)	振込依頼人の預金種目を記録する。 「1」・・・ 普通預金 「2」・・・ 当座預金										
12	口座番号 （企業等）	N(7)	振込依頼人の口座番号を記録する。 ・・・ 右詰め残り前「0」。										
13	ダミー	C(17)	スペースとする。										

(1 2 0)

②データ・レコード（受取人情報の記録部分）

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類を表す。 「2」：データ・レコードと記録する。
2	被仕向銀行番号	N(4)	統一金融機関番号。 振込先の銀行番号を記録する。(金融機関共同コード)
3	被仕向銀行名	C(15)	振込先の銀行名をカナ文字で記録する。 ・・・ 左詰め残りスペース 例) 北洋銀行 → 「ホウヨウ」 〔 上記「被仕向銀行番号」に該当しない名称 が記録されている場合は、「被仕向銀行番号」 を優先して処理する。 〕
4	被仕向支店番号	N(3)	統一店番号 振込先の支店番号を記録する。(統一店番号)
5	被仕向支店名	C(15)	振込先の支店名を記録する。 ・・・ 左詰め残りスペース 〔 上記「被仕向支店番号」に該当しない名称 が記録されている場合は、「被仕向支店番号」 を優先して処理する 〕
6	※ 手形交換所番号	N(4)	統一手形交換所番号を表す。
7	預金種目	N(1)	振込先の預金種目を記録する。 「1」・・・ 普通預金 「2」・・・ 当座預金
8	口座番号	N(7)	振込先の口座番号を記録する。 ・・・ 右詰め残り前「0」。
9	預金者名	C(30)	振込先預金者名をカナ文字で記録する。 ・・・ 左詰め残りスペース。
10	振込金額	N(10)	振込金額を記録する。 ・・・ 右詰め残り前「0」。 (振込金額「0」は処理されない。)
11	新規コード	N(1)	「1」：第1回振込分 「2」：変更分(被仕向銀行・支店、預金種目・口座番号) 「0」：その他
12	※ 社員番号	N(10)	企業等での社員番号を表す。 ・・・ 右詰め残り前「0」。
13	※ 所属コード	N(10)	企業等での所属コードを表す。 ・・・ 右詰め残り前「0」。
14	ダミー	C(9)	スペースとする。

(1 2 0)

③トレーラ・レコード（データ・レコードの集計情報の記録部分）

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類を表す。 「8」：トレーラ・レコードと記録する。
2	合計件数	N(6)	データ・レコードの合計件数を記録する。 ・・・ 右詰め残り前「0」。
3	合計金額	N(12)	データ・レコードの振込金額の合計額を記録する。 ・・・ 右詰め残り前「0」。
4	ダミー	C(101)	スペースとする。

(120)

④エンド・レコード（終了情報の記録部分）

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類を表す。 「9」：エンド・レコードと記録する。
2	ダミー	C(119)	スペースとする。

(120)

振込入金通知レコード・フォーマット

- (1) 説明
- ・取引先（企業）の口座へ振込入金明細を銀行から通知する場合に使用する。
 - ・対象口座は普通預金および当座預金。
- (2) レコードの内容
- ・桁数欄の「C」はキャラクター（数字を含む）、「N」は数字を表す。
 - ・項目名頭部に「※」が付してあるものは任意記録項目なので、記録情報がない場合は「0」または「スペース」とする。
- (3) フォーマットの内容（当行ではフォーマットBのみを使用）
- ・振込入金通知金額が10桁を超える場合には、項番12「金額（2）」および項番13「うち他店券金額（2）」を使用し、項番5「金額（1）」および項番6「うち他店券金額（1）」はすべてゼロとする。
 - ・振込入金通知金額が10桁以内の場合には、項番5「金額（1）」および項番6「うち他店券金額（1）」を使用し、項番12「金額（2）」および項番13「うち他店券金額（2）」はすべてゼロとする。

①ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表す。 「1」：ヘッダー・レコード。
2	種別コード	N(2)	業務種別を表す。 「01」：振込入金通知。
3	コード区分	N(1)	使用コード区分を表す。 「0」：JISコード 「1」：EBCDICコード
4	作成日	N(6)	データ作成日を年月日で表す（和暦）。 <u>YY</u> <u>MM</u> <u>DD</u> 年 月 日
5	勘定日（自）	N(6)	勘定日の期間を表す。 <u>YYMMDD</u> <u>YYMMDD</u> 勘定日（自） 勘定日（至）
6	勘定日（至）	N(6)	ただし、営業日単位で通知する場合は、（自）（至）を同一年月日とする。
7	銀行コード	N(4)	統一金融機関番号を表す。 「0501」：（北洋銀行）
8	銀行名	C(15)	「 <u>救助</u> 」・・・左詰め残りスペース
9	支店コード	N(3)	取引支店番号（統一店番号）
10	支店名	C(15)	取引支店名・・・左詰め残りスペース
11	預金種目	N(1)	預金種目を表す。 「1」・・・普通預金 「2」・・・当座預金
12	口座番号	N(7)	取引口座番号を表す。・・・右詰め残り前 「0」
13	口座名	C(40)	口座名・・・左詰め残りスペース。
14	ダミー	C(93)	スペースとする。

(200)

②データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表す。 「2」：データ・レコード
2	※ 照会番号	N(6)	銀行が採番した照会用番号。 ・・・右詰め残り前「0」。
3	勘定日	N(6)	勘定日（和暦）を表す。 <u>YY MM DD</u> 年 月 日
4	起算日	N(6)	入金の起算日を表す。（和暦） <u>YY MM DD</u> 年 月 日 通常は勘定日と同日であるが、その場合には勘定日と 同一年月日を記録する。
5	金額(1)	N(10)	入金額。振込入金通知が10桁以内の場合に使用する。 ・・・右詰め残り前「0」。 項番12を使用する場合にはすべて「0」とする。
6	うち他店券金額(1)	N(10)	入金額中の他店券金額。振込入金通知が10桁以内の 場合に使用する。・・・右詰め残り前「0」。 項番13を使用する場合にはすべて「0」とする。
7	※ 振込依頼人コード	N(10)	仕向銀行からの為替通知に付された振込依頼人の識 別コードとする。 <u>XXXXXXXXXX</u> 右詰め残り前「0」。 (振込依頼人コード)
8	振込依頼人名	C(48)	振込依頼人名・・・左詰め残りスペース。
9	※ 仕向銀行名	C(15)	仕向銀行名・・・左詰め残りスペース。
10	※ 仕向店名	C(15)	仕向店名・・・左詰め残りスペース。
11	※ 取消区分	N(1)	振込入金通知を取消す場合に使用する。 「1」：取消
12	金額(2)	N(12)	振込入金通知が10桁を超える場合に使用する。 ・・・右詰め残り前「0」。 項番5を使用する場合にはすべて「0」とする。
13	うち他店券金額(2)	N(12)	入金額中の他店券金額。振込入金通知が10桁を超え る場合に使用する。・・・右詰め残り前「0」 項番6を使用する場合にはすべて「0」とする。
14	※ EDI情報	C(20)	仕向銀行からの為替通知に記載されたEDI情報と する。・・・・・・左詰め残りスペース。
15	ダミー	C(28)	スペースとする。

(200)

③トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表す。 「8」：トレーラ・レコード。
2	振込合計件数	N(6)	右詰め残り前「0」。
3	振込合計金額	N(12)	右詰め残り前「0」。
4	※ 取消合計件数	N(6)	右詰め残り前「0」。
5	※ 取消合計金額	N(12)	右詰め残り前「0」。
6	ダミー	C(163)	スペースとする。

(200)

④エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表す。 「9」：エンド・レコードと記録する。
2	ダミー	C(199)	スペースとする。

(200)

入出金取引明細レコード・フォーマット

- (1) 説明
- ・取引先（企業）の口座の入金および出金取引の明細を銀行から通知する場合に使用する。
 - ・対象預金は普通預金、当座預金のほか通知預金、定期預金、積立定期預金があり、前2者と後3者とはデータ・レコードのフォーマットが異なる。
- (2) レコードの内容
- ・桁数欄の「C」はキャラクター（数字を含む）、「N」は数字を表わす。
 - ・項目名頭部に「※」が付してあるものは任意記録項目なので、記録しない場合は、「0」または「スペース」とする。

①ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表す。 「1」：ヘッダー・レコード。
2	種別コード	N(2)	業務種別を表す。 「03」：入出金取引明細。
3	コード区分	N(1)	使用コード区分を表す。 「0」：J I Sコード 「1」：E B C D I Cコード
4	作成日	N(6)	データ作成日を年月日で表す（和暦）。 <u>YY</u> <u>MM</u> <u>DD</u> 年 月 日
5	勘定日（自）	N(6)	勘定日の期間を表す。 <u>YYMMDD</u> <u>YYMMDD</u> 勘定日（自） 勘定日（至）
6	勘定日（至）	N(6)	ただし、営業日単位で通知する場合は、（自）（至）を同一年月日とする。
7	銀行コード	N(4)	統一金融機関番号を表す。 「0501」：（北洋銀行）と記録する。
8	銀行名	C(15)	「ホヨウ」・・・左詰め残りスペース。
9	支店コード	N(3)	取引支店番号（統一店番号）
10	支店名	C(15)	取引支店名・・・左詰め残りスペース。
11	ダミー	N(3)	将来の拡張用の予備エリアを表す。 全て「0」とする。
12	預金種目	N(1)	預金種目を表す。 「1」・・・普通預金 「2」・・・当座預金
13	口座番号	N(10)	取引口座番号を表す。 ・・・右詰め残り前「0」。
14	口座名	C(40)	口座名・・・左詰め残りスペース。
15	※貸越区分	N(1)	取引前残高の状態を表す。 「1」：プラス 「2」：マイナス
16	※通帳・証書区分	N(1)	取引が通帳によるか証書によるかの区分を示す。 「1」：通帳 「2」：証書
17	※取引前残高	N(14)	取引前残高を表す。 ・・・右詰め残り前「0」。
18	ダミー	C(71)	スペースとする。

(2 0 0)

②-1 データ・レコード・・・普通預金・当座預金の場合

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表す。 「2」：データ・レコードと記録する。
2	※照会番号	N(8)	銀行が採番した照会用番号。 ・・・右詰め残り前「0」。
3	勘定日	N(6)	勘定日（和暦）を表す。 <u>YY MM DD</u> 年 月 日
4	預入・払出日	N(6)	入金 of 起算日を表す。（和暦） <u>YY MM DD</u> 年 月 日 通常は勘定日と同日であるが、その場合には勘定日 と同一年月日を記録する。
5	入払区分 (注)	N(1)	入出金の状態を表す。 「1」：入金 「2」：出金
6	※取引区分	N(2)	取引形態を表す。 「10」：現金 「11」：振込 「12」：他店券入金 「13」：交換（取立入金および交換払） 「14」：振替 「18」：その他 「19」：訂正
7	取引金額	N(12)	取引金額を表す。 ・・・右詰め残り前「0」。
8	うち他店券金額	N(12)	取引金額中の他店券金額を表す。 ・・・右詰め残り前「0」。
9	※交換呈示日	N(6)	証券類の交換呈示日（和暦）を表す。 <u>YY MM DD</u> 年 月 日
10	※不渡返還日	N(6)	証券類の不渡返還日（和暦）を表す。 <u>YY MM DD</u> 年 月 日
11	※手形・小切手区分	N(1)	手形・小切手の種別を表す。 「1」：小切手 「2」：約束手形 「3」：為替手形
12	※手形・小切手番号	N(7)	右詰め残り前「0」。
13	※僚店番号	N(3)	取引のあった店を表す。（統一店番号）
14	※振込依頼人コード	N(10)	仕向銀行からの為替通知に付された振込依頼人の識別 コードとする。 <u>XXXXXXXXXX</u> 右詰め残り前「0」 (振込依頼人コード)
15	振込依頼人名 または ※契約者番号	C(48)	【入払区分が「1」（入金）の場合】 ・振込依頼人名・・・左詰め残りスペースとする。 【入払区分が「2」（出金）の場合】 ・預金口座振替の契約者番号（収納企業が採番した 20桁以内のコード）を左20桁に記録し、残り28 桁はスペースとする。
16	※仕向銀行名	C(15)	仕向銀行名・・・左詰め残りスペース。
17	※仕向店名	C(15)	仕向店名・・・左詰め残りスペース。
18	※摘要内容	C(20)	左詰め残りスペース。

19	※ E D I 情報	C(20)	仕向銀行からの為替通知に記載されたE D I 情報とする。 ・・・・・・・・左詰め残りスペース。
20	ダ ミ ー	C(1)	スペースとする

(200)

(注)：取引区分の訂正「19」を使用する場合には、入払区分を入金訂正は出金「2」、
出金訂正は入金「1」とする。

②-2 データ・レコード・・・・通知預金・定期預金・積立定期預金の場合

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表す。 「2」：データ・レコードと記録する。
2	※ 識別番号	N(8)	定期預金（積立定期を除く）の場合に預入番号をセットします。（概算出金、連続出金の場合は右詰め残り前「0」）積立定期、通知の場合は右詰め残り前「0」
3	勘定日	N(6)	勘定日（和暦）を表す。 <u>YY</u> <u>MM</u> <u>DD</u> 年 月 日
4	預入・払出日	N(6)	入金・出金の起算日を表す。（和暦） <u>YY</u> <u>MM</u> <u>DD</u> 年 月 日 通常は勘定日と同日であるが、その場合には勘定日と同一年月日を記録する。
5	入払区分 (注1)	N(1)	入出金の状態を表す。 「1」：入金 「2」：出金
6	※ 取引区分	N(2)	取引形態を表す。 「10」：現金 「11」：振込 「12」：他店券入金 「13」：交換（取立入金および交換払） 「14」：振替 「15」：継続（自動継続を含む） 「18」：その他 「19」：訂正
7	取引金額	N(12)	取引金額を表す。 ・・・・・・・・右詰め残り前「0」。
8	うち他店券金額	N(12)	取引金額中の他店券金額を表す。 ・・・・・・・・右詰め残り前「0」。
9	※ 交換呈示日	N(6)	証券類の交換呈示日（和暦）を表す。 <u>YY</u> <u>MM</u> <u>DD</u> 年 月 日
10	※ 不渡返還日	N(6)	証券類の不渡返還日（和暦）を表す。 <u>YY</u> <u>MM</u> <u>DD</u> 年 月 日
11	※ 手形・小切手区分	N(1)	手形・小切手の種別を表す。 「1」：小切手 「2」：約束手形 「3」：為替手形
12	※ 手形・小切手番号	N(7)	右詰め残り前「0」。
13	※ 僚店番号	N(3)	取引のあった店を表す。（統一店番号）

14	※ 当 初 預 入 日	N(6)	継続された定期預金・積立定期預金の当初預入日は預入の場合は継続前の最初の預入日、支払の場合は最後の継続日とする。(和暦) <u>Y Y</u> <u>MM</u> <u>DD</u> 年 月 日
15	利 (注 2) 率	N(6)	預入日の利率を表す(年利)。利率が変更になった場合はスペースとする。期限前解約の場合は、期限前解約利率を記録する。 <u>X X</u> <u>X X X X</u> (少数第4位まで) (預入時の利率または期限前解約利率)
16	※ 満 期 日	N(6)	定期預金・積立定期預金の満期日(積立定期預金の場合は口座契約上の満期日)を表す。(和暦) <u>Y Y</u> <u>MM</u> <u>DD</u> 年 月 日
17	※ 期 間 (1)	N(7)	預入日から満期日(通知預金は勘定日)までの期間(積立定期預金の場合は口座契約上の期間。)年・月・日のいずれかで表す。 使用しないものは全て「0」とする。 <u>X</u> <u>X X</u> <u>X X X X</u> 日表示・・・右詰め残り前「0」 月表示・・・右詰め残り前「0」 年表示
18	※ 期 間 利 息	N(11)	期間中に発生した利息額を表す。 ただし、定期預金の場合は、中間払利息を控除した額とする。 <u>X X X X X X X X X X X</u> (右詰め残り前「0」) (期間利息)
19	※ 中 間 払 利 率	N(6)	定期預金の中間払利率(年利) <u>X X</u> <u>X X X X</u> (小数第4位まで) (中間払利率)
20	※ 中 間 払 区 分	N(1)	定期預金の中間払利息の支払区分を表す。 ・1・・・現払 ・2・・・指定口座への振替 ・3・・・1年定期預金の作成
21	※ 期 後 期 間	N(4)	定期預金・積立定期預金の満期日から解約日(勘定日)までの期間(日数表示)。 <u>X X X X</u> (右詰め残り前「0」) (期後期間)
22	※ 期 後 利 率	N(6)	期後期間に適用される利率(年率)。 <u>X X</u> <u>X X X X</u> (少数第4位まで) (期後利率)
23	※ 期 後 利 息	N(9)	期後期間に発生した利息額。 <u>X X X X X X X X X</u> (右詰め残り前「0」) (期後利息)
24	※ 合 計 利 息	N(11)	利息の合計額を表す。 <u>X X X X X X X X X X X</u> (右詰め残り前「0」) (合計利息)

25	※ 税 区 分	N(1)	利息に対する課税区分を表す。 1・・・総合課税 2・・・分離課税 3・・・マル優 5・・・非居住者 9・・・その他
26	※ 税 率	N(4)	利息額に適用される税率を表す（年利）。 税率がゼロとなる場合は、すべて「0」とする。 税率が変更になった場合にはスペースとする。 <u>XX XX</u> （小数第2位まで） （税率）
27	※ 税 額	N(10)	（期間利息×税率）＋（期後利息×税率）。 <u>XXXXXXXXXX</u> （右詰め残り前「0」） （税額）
28	※ 税 引 後 利 息	N(11)	合計利息－税額。 <u>XXXXXXXXXX</u> （右詰め残り前「0」） （税引後利息）
29	※ 摘 要 内 容	C(20)	左詰め残りスペース。
30	※ 期 間 （2）	N(5)	項番17「期間（1）」で年・月の期間表示ができない 場合に使用する。年・月のいずれかで表す。 使用しないものは全て「0」とする。 <u>XX XX</u> └──────────┘ 月表示・・・右詰め残り前「0」 └──────────┘ 年表示・・・右詰め残り前「0」
31	※ 期 間 利 息 正 負 表 示	N(1)	1・・・プラス 2・・・マイナス
32	ダ ミ ー	C(4)	スペースとする。

(200)

(注1) 取引区分の訂正「19」を使用する場合には、入払区分を入金の訂正は出金「2」、出金の訂正は入金「1」とする。

(注2) 取引区分の訂正「19」を使用する場合には、スペースとすることができる。

③トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表す。 「8」: トレーラ・レコードと記録する。
2	入金件数	N(6)	右詰め残り前「0」。
3	入金額合計	N(13)	右詰め残り前「0」。
4	出金件数	N(6)	右詰め残り前「0」。
5	出金額合計	N(13)	右詰め残り前「0」。
6	※貸越区分	N(1)	取引後残高の状態を表す。 「1」: プラス 「2」: マイナス
7	※取引後残高	N(14)	右詰め残り前「0」。
8	データ・レコード 件数	N(7)	データ・レコードの総件数を表す。右詰め残り前「0」。
9	ダミー	C(139)	スペースとする。

(200)

④エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表す。 「9」: エンド・レコードと記録する。
2	レコード総件数	N(10)	右詰め残り前「0」。
3	口座数	N(5)	右詰め残り前「0」。
4	ダミー	C(184)	スペースとする。

(200)

残高通知（預金）レコード・フォーマット

- (1) 説明
- ・取引先（企業）の預金口座の残高を銀行から通知する場合に使用する。
 - ・対象口座は普通預金および当座預金。
- (2) レコードの内容
- ・桁数欄の「C」はキャラクター（数字を含む）、「N」は数字を表わす。
 - ・項目名頭部に「※」が付してあるものは任意記録項目なので、記録しない場合は、「0」または「スペース」とする。
- (3) レコードのシーケンス・フローは次のとおり。

<例> 全店・全種目の場合

ヘレ ッコ ダ ード	デレ コ タ ード	デレ コ タ ード	トレ レコ ラド	ヘレ ッコ ダ ード	デレ コ タ ード	デレ コ タ ード	デレ コ タ ード	トレ レコ ラド	ヘレ ッコ ダ ード	デレ コ タ ード	デレ コ タ ード
A支店 A支店 普通 当座				B支店 B支店 B支店 普通 当座 通知				C支店 C支店 普通 当座			

デレ コ タ ード	デレ コ タ ード		デレ コ タ ード	トレ レコ ラド	エレ ンコ ド ード
C支店 C支店 通知 定期			N支店 X預金		

①ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表す。 「1」：ヘッダー・レコード。
2	種別コード	N(2)	業務種別を表す。 「04」：残高通知。
3	通知区分	N(1)	残高通知の種類を表す。 「1」：預金
4	コード区分	N(1)	使用コード区分を表す。 「0」：J I Sコード 「1」：E B C D I Cコード
5	作成日	N(6)	データ作成日を年月日で表す（和暦）。 <u>YY</u> <u>MM</u> <u>DD</u> 年 月 日
6	会社コード	N(10)	振込依頼人識別のため銀行が採番したコードを表す。 ・・・ 右詰め残り前「0」。 <table style="display: inline-table; border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; vertical-align: middle;"></table>
7	会社名	C(40)	会社名・・・左詰め残りスペース。
8	銀行コード	N(4)	統一金融機関番号を表す。 「0501」：（北洋銀行）と記録する。
9	銀行名	C(15)	「ホウワ」・・・左詰め残りスペース。
10	支店コード	N(3)	取引支店番号（統一店番号）
11	支店名	C(15)	取引支店名・・・左詰め残りスペース。
12	ダミー	C(102)	スペースとする。

(2 0 0)

②データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表す。 「2」：データ・レコードと記録する。
2	基準日	N(6)	現在残高の基準日（和暦）を表す。 <u>YY</u> <u>MM</u> <u>DD</u> 年 月 日
3	基準時刻	N(4)	現在残高の基準時刻を表す。 <u>HH</u> <u>MM</u> 時 分
4	支店コード	N(3)	取引支店番号（統一店番号）。
5	ダミー	N(3)	将来の拡張用の予備エリア。 全て「0」とする。
6	預金種目	N(1)	預金種目を表す。 1・・・普通預金 2・・・当座預金 3・・・納税準備預金 5・・・通知預金 6・・・定期預金 7・・・積立定期預金 8・・・定期積金 9・・・その他
7	口座番号 (注)	N(10)	取引口座番号を表す。 ・・・右詰め残り前「0」。
8	※ 口座数	N(4)	通知預金、定期預金における上記口座の口数。 ・・・右詰め残り前「0」。
9	口座名	C(40)	口座名・・・・・・・・左詰め残りスペース。
10	現在残高 (1)貸越区分	N(1)	・現在残高の状態を表す。 1・・・プラス 2・・・マイナス ・基準時刻における残高を表す。 ・・・・・・・・右詰め残り前「0」
	(2)残高	N(14)	
11	他店券残高	N(14)	現在残高中の他店券残高を表す。 ・・・右詰め残り前「0」。
12	貸越極度額	N(14)	当座貸越契約がある場合の貸越極度額を表す。 ・・・右詰め残り前「0」。
13	※ 支払可能残高 (1)貸越区分	N(1)	・支払可能残高の状態を表す。 1・・・プラス 2・・・マイナス ・現在残高－他店券残高＋貸越極度額を表す。 ・・・・・・・・右詰め残り前「0」。
	(2)残高	N(14)	
14	※ 前日残高 (1)貸越区分	N(1)	・前日残高の状態を表す。 1・・・プラス 2・・・マイナス ・前日末の残高を表す。 ・・・・・・・・右詰め残り前「0」。
	(2)残高	N(14)	
15	※ 最新取引日	N(6)	最新の取引日（和暦）を表す。 <u>YY</u> <u>MM</u> <u>DD</u> 年 月 日
16	ダミー	C(49)	スペースとする。

(200)

(注)：普通預金、当座預金は7桁以下であるが、その他の預金については一部の銀行において7桁を超える場合があるため10桁とする。

③トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表す。 「8」：トレーラ・レコードと記録する。
2	データ・レコード件数	N(7)	データ・レコードの総件数を表す。 右詰め残り前「0」。
3	ダミー	C(192)	スペースとする。

(200)

④エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表す。 「9」：エンド・レコードと記録する。
2	レコード総件数	N(10)	右詰め残り前「0」。
3	ダミー	C(189)	スペースとする。

(200)

預金口座振替（依頼明細）レコード・フォーマット

- (1) 説明
 預金口座振替の収納企業（委託者）が預金口座振替を銀行に依頼する場合の明細である。
- (2) レコードの内容
- ・項目名頭部に「※」が付してあるものは任意記録項目なので、記録しない場合は「0」または「スペース」とする。
 - ・桁数欄の「C」はキャラクター（数字を含む）、「N」は数字を表す。

①ヘッダー・レコード（委託者情報の記録部分）

項番	項目名	桁数	内容										
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表す。 「1」：ヘッダーレコードと記録する。										
2	種別コード	N(2)	業務種別を表す。 「91」：預金口座振替と記録する。										
3	コード区分	N(1)	使用コード区分を表す。 「0」：J I Sコード（Bダイル外は「0」のみ対応） 「1」：E B C D I Cコード										
4	委託者コード	N(10)	銀行が採番したコードを表す。 ・ ・ ・ 右詰め残り前「0」。 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table>										
5	委託者名	C(40)	委託者名をカナ文字で表す。 ・ ・ ・ 左詰め残りスペース										
6	引落日	N(4)	引落指定日を月日を表す。 例) 6月25日 → 「0625」 （銀行休業日の指定は不可。）										
7	取引銀行番号	N(4)	統一金融機関番号を表す。 「0501」（北洋銀行）と記録する。										
8	※ 取引銀行名	C(15)	「ホヨ」と記録する。 ・ ・ ・ 左詰め残りスペース										
9	取引支店番号	N(3)	統一店番号を表す。 取引支店番号（統一店番号）を記録する。 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table>										
10	※ 取引支店名	C(15)	取引支店名を記録する。 ・ ・ ・ 左詰め残りスペース										
11	預金種目 （委託者）	N(1)	委託者の預金種目を記録する。 「1」 ・ ・ ・ 普通預金 「2」 ・ ・ ・ 当座預金 「9」 ・ ・ ・ その他（Bダイル外は「9」使用不可）										
12	口座番号 （委託者）	N(7)	委託者の口座番号を記録する。 ・ ・ ・ 右詰め残り前「0」。										
13	ダミー	C(17)	スペースとする。										

(1 2 0)

②データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類を表す。 「2」：データ・レコードと記録する。
2	引落銀行番号	N(4)	統一金融機関番号を表す。 「0501」：(北洋銀行)と記録する。
3	※ 引落銀行名	C(15)	任意項目であるが記録する場合は、「補助」とする。 ・・・ 左詰め残りスペース。
4	引落支店番号	N(3)	統一店番号 引落先の支店番号を記録する。(統一店番号)
5	※ 引落支店名	C(15)	引落先の支店名を記録する。 ・・・ 左詰め残りスペース。
6	ダミー	C(4)	スペースとする。
7	預金種目	N(1)	引落先の預金種目を記録する。 「1」・・・ 普通預金 「2」・・・ 当座預金 「1」・・・ 納税準備預金
8	口座番号	N(7)	預金者の口座番号を記録する。 ・・・ 右詰め残り前「0」。
9	預金者名	C(30)	預金者名をカナ文字で記録する。 ・・・ 左詰め残りスペース
10	引落金額	N(10)	引落金額を記録する。 ・・・ 右詰め残り前「0」。 (引落金額「0」は処理されない)
11	新規コード	N(1)	新規振替、変更等を表す。 「1」：第1回引落分 「2」：変更分(引落銀行・支店、口座番号) 「0」：その他
12	顧客番号	N(20)	委託者が定めた顧客番号を表す。 ・・・ 右詰め残り前「0」。
13	振替結果コード	N(1)	振替処理を行った結果を表す。 依頼明細では「0」とする。
14	ダミー	C(8)	スペースとする。

(120)

③トレーラ・レコード（データ・レコードの集計情報の記録部分）

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類を表す。 「8」：トレーラ・レコードと記録する。
2	合計件数	N(6)	データ・レコードの合計件数を記録する。 ・・・ 右詰め残り前「0」。
3	合計金額	N(12)	データ・レコードの引落金額の合計額を記録する。 ・・・ 右詰め残り前「0」。
4	振替済件数	N(6)	振替処理済件数。 依頼明細では全て「0」とする。
5	振替済金額	N(12)	振替済金額。 依頼明細では全て「0」とする。
6	振替不能件数	N(6)	振替処理不能件数。 依頼明細では全て「0」とする。
7	振替不能金額	N(12)	振替不能金額。 依頼明細では全て「0」とする。
8	ダミー	C(65)	スペースとする。

(120)

④エンド・レコード（終了情報の記録部分）

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類を表す。 「9」：エンド・レコードと記録する。
2	ダミー	C(119)	スペースとする。

(120)

預金口座振替（処理結果明細）レコード・フォーマット

(1) 説明

預金口座振替の処理結果を銀行から企業に回答する場合の明細である。

(2) レコードの内容

次の項目以外は預金口座振替（依頼明細）レコード・フォーマットと同一。

②データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
13	振替結果コード	N(1)	振替処理を行った結果を表す。 「0」：振替済 「1」：資金不足 「2」：取引なし 「3」：預金者の都合による振替停止 「4」：預金口座振替依頼書なし 「8」：委託者の都合による振替停止 「9」：その他

③トレーラ・レコード（データ・レコードの集計情報の記録部分）

項番	項目名	桁数	内容
4	振替済件数	N(6)	右詰め残り前「0」。
5	振替済金額	N(12)	右詰め残り前「0」。
6	振替不能件数	N(6)	右詰め残り前「0」。
7	振替不能金額	N(12)	右詰め残り前「0」。

(3) レコードの形式

預金口座振替（依頼明細）レコード・フォーマットと同一。

住民税レコード・フォーマット

(特別徴収による市町村民税、都道府県民税)

(1) 説明

- ・取引先(企業)から特別徴収(後記注釈参照)による住民税を当行が顧客に代わって納付書作成・納付手続きなどを行う。
- ・全国すべての地方公共団体への納税を当行が一括して取扱うことができる。

(2) レコードの内容

- ・桁数欄の「C」はキャラクター(数字を含む)、「N」は数字を表わす。

※特別徴収とは・・・住民税を直接納税者(従業員等)に納付させるのではなく、その徴収に便宜を持っている者(特別徴収義務者の意。企業等)に納税者から徴収して納付させる制度。

①ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表す。 「1」:ヘッダー・レコードを記録する。
2	種別コード	N(2)	業務種別を表す。 「99」:地方税個人住民税を記録する。
3	コード区分	N(1)	使用コード区分を表す。 「0」:J I Sコード 「1」:E B C D I Cコード
4	会社コード	N(10)	お客様番号を表す(委託者コード)。右詰め残り前「0」。
5	取引支店番号	N(3)	お取引店番
6	納付指定日	N(6)	納付指定日を年月日で表す(和暦)。 <u>YY</u> <u>MM</u> <u>DD</u> 年 月 日
7	納付月分	N(4)	納付月分を年月で表す(和暦)。 <u>YY</u> <u>MM</u> 年 月
8	特別徴収義務者	C(40)	左詰め残りスペースとする。 ※帳票には、20桁づつ2行で表示。
9	特別徴収義務者の所在地	C(50)	左詰め残りスペースとする。 ※帳票には、15・15・20桁づつ3行で表示。
10	ダミー	C(3)	ダミー・エリア

(120)

②データ・レコード

項番	項目名		桁数	内容
1	データ区分		N(1)	レコード種類を表す。 「2」(データ・レコード)
2	市町村コード		N(6)	自治省コード。
3	市町村名		C(15)	左詰め残りスペースとする。
4	指定番号		C(15)	左詰め残りスペースとする。
5	異動の有無		N(1)	「0」:異動無し 「1」:異動有り
6	給与税額	件数	N(5)	右詰め残り前「0」。
		金額	N(9)	右詰め残り前「0」。
7	退職税額	件数	N(5)	右詰め残り前「0」。
		金額	N(9)	右詰め残り前「0」。
8	合計税額	件数	N(5)	右詰め残り前「0」。
		金額	N(9)	右詰め残り前「0」。
9	退職明細	人員	N(3)	右詰め残り前「0」。
		支払金額	N(10)	右詰め残り前「0」。
		市町村税	N(9)	右詰め残り前「0」。
		都道府県税	N(9)	右詰め残り前「0」。
10	ダミー		C(9)	スペースとする。

(120)

③トレーラ・レコード

項番	項目名		桁数	内容
1	データ区分		N(1)	レコード種類を表す。 「8」：トレーラ・レコードを記録する。
2	給与税額合	件数	N(7)	右詰め残り前「0」。
		金額	N(11)	右詰め残り前「0」。
3	退職税額合	件数	N(7)	右詰め残り前「0」。
		金額	N(11)	右詰め残り前「0」。
4	合計	件数	N(7)	右詰め残り前「0」。
		金額	N(11)	右詰め残り前「0」。
5	ダミ		C(65)	スペースとする。

(120)

④エンド・レコード

項番	項目名		桁数	内容
1	データ区分		N(1)	レコード種類を表す。 「9」：エンド・レコードを記録する。
2	ダミ		C(119)	スペースとする。

(120)